
LOVE×LOVE×LOVE!?

チョコ♂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

LOVE×LOVE×LOVE!?

【Nコード】

N4891BA

【作者名】

チヨコ[♂]

【あらすじ】

季節は春。出会いと別れの象徴。期待や不安がない交ぜとなる高校の入学式を終え、およそひと月が経つころ。特に大きな夢や目標を持つこともなく、進んで持とうともせず、いたずらに日々を過ごしていた少年・山下^{やました}優輝^{ゆうき}。しかし、幼なじみであり居候先の次女でもある水野^{みずの}雫^{しずく}を始めとする、個性あふれる様々な者たちとの触れ合いを通じて、いつしか彼は自身の心の変化を自覚していくことになる。ありふれた日常とともに移ろいゆく季節のなかで、彼の想いが最後に行き着く場所とは――。これは、彼らの心に触れる物語。

※モバゲー・エブリスタのほうでも投稿していますが、こちらはそれを少なからず手直しして投稿していますので、厳密には違う作品として扱いたいと思います。

1 (前書き)

作：蛇星 羊 > i 3 9 0 0 5 — 4 8 5 9 <

作：Hiyuki

> i 3 9 0 0 6 — 4 8 5 9 <

風を感じた。

目を開き――思わず息を呑んだ。早鐘のごとき胸の高鳴りは受け入れがたい光景を目の当たりにした驚きによるものだ。しかしそれだけではなく、むしろその光景に宿る美しさこそが、そうせしめた要因であった。

俺の姿は、草原にあった。

抜けるような青空の下では、まるで陸地の果てまで及ぶものと思わせる一面の草花が、見渡す限りに広がっている。その雄大な眺めは、動揺すら外へ追いやり深い感動を与えるほど。

だが、ここはひどく現実味のない世界でもあった。燦々と降り注ぐ日光の暖かさや、大地を踏みしめる感触すらもあるというのに、さめた目を向ける自分がいるのだ。

そう、さながら絵画のようであるこの完成した世界は、いま俺が見ている夢で……

それは、さわさわと渡る再びの風に目を細めたときだった。

「お母さん！」

「！」

立ち尽くす俺の脇を、なにか小柄な影が駆けていった。幼い男の子だ。釣られて振り返り、困惑のままにその小さな背中を目で追う。

……これは、既視感なのか。

俺は遠ざかる背中から目を離すことができずにいた。知らない。俺はあの子を知らないはずだ。しかし、拭いきれない奇妙な感覚。俺の頭のなかには混乱をきわめた。

そうして、穴が開くほど注視していたからだろう。男の子の右手に、茎頂に黄色い花弁を付けた植物が握られていることに気付く。同時に強まる、妙な既視感。

そう、俺は、あれをどこかで見たはずなんだ。

あと一歩というところで思い出せないとは、なんともどかしいことなのだろうか。

「お母さん！」

やはり聞き覚えのある声に我に返る。

男の子の走る先に、ひとりの女性が立っていた。ともに純白の日傘とワンピースというフェミニンルック。

そして、母親と思いきその女性へと、男の子は走り寄る勢いもそのままに抱き着いた。距離のためか、靄がかかったようで顔の視認もままならないその母親は——おそらくは暖かな微笑を浮かべながら——それを受け入れる。その抱擁のさまは聖母をすら思わせた。微笑ましいその光景は、幸せの象徴。この世界の美しさとも相まって、何人たりとも侵すことのできない聖域のように感じられる。この光景の前では、いかな者でも暖かな気持ちを覚えずにはいられない。まい。

しかし、俺の胸は激しい痛みを訴えだし、俺は思わず胸元を力強く握り締めていた。

一向に痛みは治まらず、その場に膝をついてしまう。

「——」

そして、気付いてしまった。

あれは。

あの母子は——

1（後書き）

不定期更新だったり、筆力の低さだったり、王道ラブコメで確かに登場キャラの男女比に偏りはあるけれど実はハーレムではなかったり、機械おんち十なろうのシステムに不慣れなのでなにかしでかすかもしれない……、あらかじめお断りしておきたいことは山ほどあるのですが、まずはこうして一読してくださったこと、厚くお礼を申し上げます。

また、ご意見、ご感想などありましたら、ぜひともお寄せいただきたいと思っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4891ba/>

LOVE×LOVE×LOVE!?

2012年1月13日16時12分発行